

システム管理者ガイド

システムの再起動やネットワーク情報の設定等、システム管理は「GIGAPOD2010 System」画面で行います。

1.GIGAPOD2010 System 画面

1-1.「GIGAPOD2010 System」画面を開くには、ブラウザで次の URL を開きます。

URL: <http://GIGAPOD2010> のホスト名または IP アドレス:8001/

1-2.http の認証画面が表示されたらシステム管理者IDとパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



「GIGAPOD2010 System」画面が表示されます。



2. 管理者パスワード変更

システム管理者の ID とパスワードを変更します。

注:システム管理者の ID とパスワードを忘れた場合は復旧できません。ご注意ください。

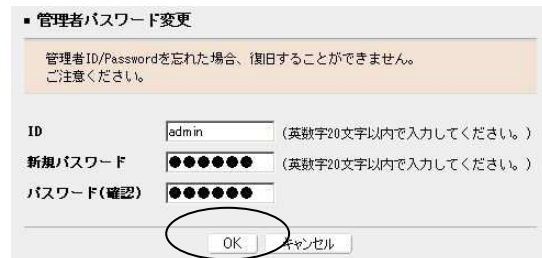
2-1. [管理者パスワード変更]をクリックします。

2-2.管理者情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

ID:システム管理者の ID

新規パスワード/パスワード(確認):システム管理者のパスワード

ID とパスワードは 20 文字以内の英数字にしてください。



2-3.http の認証画面が表示されたら、新たに設定したシステム管理者 ID とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



管理者情報が変更されました。

管理者のパスワードが変更されました。

3. 日付/ 時間設定

システム日付と時間を設定します。

注: 日付と時間の設定はシステム全体に影響を及ぼしますので、慎重に行ってください。

3-1. [日付/時間設定]をクリックします。

3-2. 「現在のシステム時間」は工場出荷時に設定された時間です。実際の時間と差が大きい場合は、下段の日付時間選択欄で再設定し、[設定を保存]ボタンをクリックします。

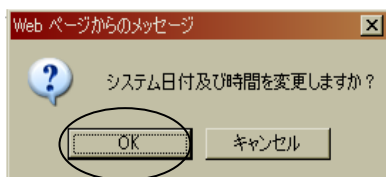
日付/時間設定

システム日付を変更します。

現在システムの時間 - 2010年5月17日 17:47:33

2010 年 5 月 17 日 17 : 35 : 36

3-3. 確認メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



4. ネットワーク設定

ネットワーク情報を設定します。

4-1. [ネットワーク設定]をクリックします。

4-2. ネットワーク情報を入力し、[設定を保存]ボタンをクリックします。

装置情報(設定できません)

MAC アドレス: MAC アドレス

ホスト名/ パソコン名: OS で設定されているホスト名

IP アドレス

IP アドレス: 割り当てる IP アドレス

サブネットマスク: サブネットマスク

ゲートウェイ: デフォルトゲートウェイの IP アドレス

DNS サーバー構成

プライマリ DNS サーバー: DNS サーバーの IP アドレス

セカンダリ DNS サーバー: セカンダリ DNS サーバーがあればその IP アドレス、なければ空欄

ネットワーク設定

デバイス情報

・MACアドレス 00 - 04 - 5F - 88 - C3 - 7F

・ホスト名/コンピュータ名 officehard

IPアドレス

・IPアドレス 192 . 168 . 100 . 145

・サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

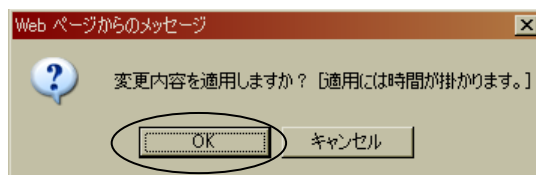
・ゲートウェイ 192 . 168 . 100 . 11

DNSサーバー構成

・プライマリDNSサーバー 8 . 8 . 8 . 8

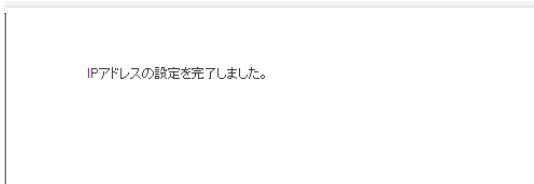
・セカンダリDNSサーバー 8 . 8 . 8 . 4

4-3. 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



その後、しばらく時間がかかりますが、画面が変わるまでお待ちください。

ネットワーク情報が設定されました。



4-4.GIGAPOD2010 の IP アドレスを変更した場合は、画面が戻ってきません。1 分ほど待ってから、下記の URL を開き直してください。

URL:[http:// 変更後のホスト名または IP アドレス:8001/](http://変更後のホスト名またはIPアドレス:8001/)

5. システムの接続権限設定

接続できる IP アドレスを設定します。
接続権限を設定すると、許可された IP アドレスからのみ接続できるようになります。複数の条件を設定した場合は、設定した条件の OR(論理和)が評価されます。

5-1. [システムの接続権限設定]をクリックします。

5-2.すべてのアドレスからのアクセスを許可する場合は、[全て許可]をチェックします。
アクセスできる IP アドレスを指定する場合は、[指定した IP のみ許可]をチェックし、アクセスを許可する IP アドレスを1 つずつ入力し、[追加]ボタンをクリックしてリストに追加します。

ネットワーク単位でアクセスを許可する場合、部分 IP を指定します。

例

123 -> 123.xxx.xxx.xxx (接続可能)

123.123 -> 123.123.xxx.xxx (接続可能)

123.123.123 -> 123.123.123.xxx (接続可能)

123.123.123.123 -> 123.123.123.123 (接続可能)

xxx の範囲は 0 ~ 255 です。

システムの接続権限設定

接続を許可するIPアドレスを設定します。

全て許可を選択するとすべてのIPアドレスからの接続を許可します。

指定したIPアドレスのみ許可]は指定されたIPアドレスからの接続のみ許可します。
また、IPアドレスの範囲を指定して許可することもできます。

例

123 -> 123.xxx.xxx.xxx (接続可能)

123.123 -> 123.123.xxx.xxx (接続可能)

123.123.123 -> 123.123.123.xxx (接続可能)

123.123.123.123 -> 123.123.123.123 (接続可能)

xxxの範囲は 0~255 です。

全て許可
 指定したIPアドレスのみ許可

IP . . .

5-2.リストから IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択し、[データを削除]ボタンをクリックします。

システムの接続制御設定

接続を許可するIPアドレスを設定します。

全て許可を選択するとすべてのIPアドレスからの接続を許可します。

指定したIPアドレスのみ許可は指定されたIPアドレスからの接続のみ許可します。また、IPアドレスの範囲を指定して許可することもできます。

例)
 123 → 123.xxx.xxx.xxx (接続可能)
 123.123 → 123.123.xxx.xxx (接続可能)
 123.123.123 → 123.123.123.xxx (接続可能)
 123.123.123.123 → 123.123.123.123 (接続可能)

xxxの範囲は 0～255 です。

全て許可
 指定したIPアドレスのみ許可

IP . . .

5-3.設定内容をシステムに反映させるために[設定を保存]ボタンをクリックします。

システムの接続制御設定

接続を許可するIPアドレスを設定します。

全て許可を選択するとすべてのIPアドレスからの接続を許可します。

指定したIPアドレスのみ許可は指定されたIPアドレスからの接続のみ許可します。また、IPアドレスの範囲を指定して許可することもできます。

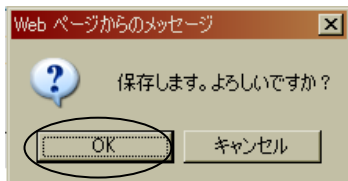
例)
 123 → 123.xxx.xxx.xxx (接続可能)
 123.123 → 123.123.xxx.xxx (接続可能)
 123.123.123 → 123.123.123.xxx (接続可能)
 123.123.123.123 → 123.123.123.123 (接続可能)

xxxの範囲は 0～255 です。

全て許可
 指定したIPアドレスのみ許可

IP . . .

5-4.確認メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



6.Web サーバー設定

Web サーバーのオプションを設定します。

6-1. [Web サーバー設定]をクリックします。

6-2.Web サーバーのタイムアウトを指定し、[設定を保存]ボタンをクリックします。

ポート番号:ポート番号は変更できません。

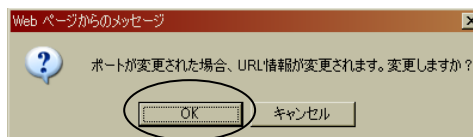
タイムアウト: Web サーバーのタイムアウト時間(秒単位)

Webサーバー設定

ポート番号

タイムアウト

6-3.確認メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



7.プロキシサーバー設定

サーバーからのインターネットアクセスにおいて、プロキシサーバーの経由が必要となる環境で使用します。この場合、プロキシサーバー経由で、ライセンス登録・ウィルスのパターンアップデートが行えます。

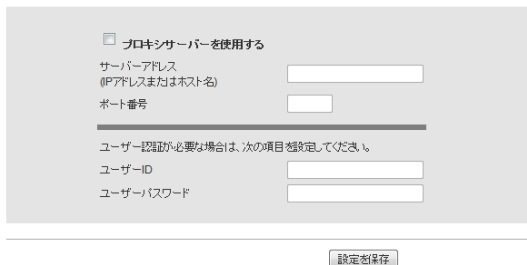
注: プロキシを使っている場合、プロキシサーバー設定を行わないと、ライセンスの登録ができません。

注: プロキシサーバー設定は、GIGAPOD2010 が、プロキシを使ってインターネットに接続するための設定で、プロキシサーバーになるものではありません。

注: NAT を使ってインターネットに接続している場合は、プロキシサーバー設定は使用しないでください。

7-1. [プロキシサーバー設定]をクリックします。

プロキシサーバー設定



プロキシサーバーを使用する

サーバーアドレス (IP アドレスまたはホスト名)

ポート番号

ユーザー認証が必要な場合は、次の項目を設定してください。

ユーザーID

ユーザーパスワード

設定を保存

7-2. プロキシサーバーの設定を行い「設定を保存」をクリックします。

プロキシサーバーを使用する: プロキシを使う環境では、チェックしてください。使わない時は、チェックしないでください。

サーバーアドレス(IP アドレスまたはホスト名): プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名

ポート(port): プロキシで使用するポート番号

ユーザー認証が必要な場合は、次の項目を設定してください。

注: ユーザー認証を設定していない場合は、設定は行わないでください。

ユーザーID: プロキシ認証で使用するユーザーID

ユーザーパスワード: プロキシ認証で使用するパスワード

プロキシサーバー設定



プロキシサーバーを使用する

サーバーアドレス (IP アドレスまたはホスト名)

ポート番号

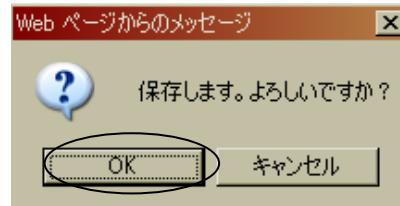
ユーザー認証が必要な場合は、次の項目を設定してください。

ユーザーID

ユーザーパスワード

設定を保存

7-3. 入力完了したら、[設定を保存]をクリックします。



プロキシサーバー設定が保存されました。

8. サービス起動/ 停止

各サービス(DB サーバー、Web サーバー)の稼働状況の確認と、起動/ 停止を行います。

注:特に必要がなければ、サービスの停止は行わないでください(GIGAPOD2010 が正常に稼働しなくなります)。

8-1. [サービス起動/ 停止]をクリックします。

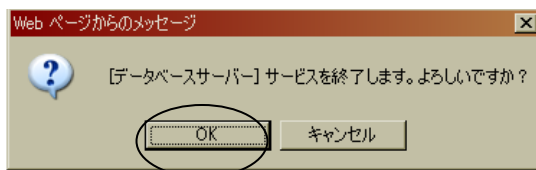
起動・停止が可能なサービスは以下の2つです。

- データベースサーバー
- Webサーバー

8-2.現在のサービス稼働状況が表示されます。起動/ 停止を切り替える場合は、ボタンをクリックします。



8-3. 確認のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



切り替え後の稼働状況が表示されます。



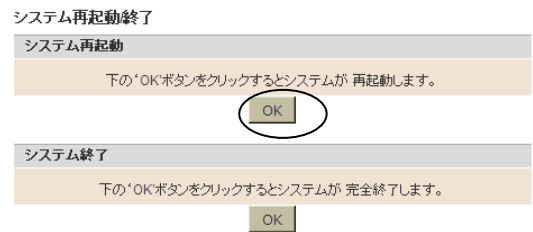
9. システム再起動/ 終了

システムの再起動/終了を行います。

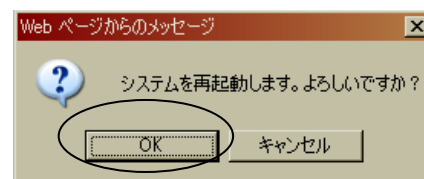
注:特に必要がなければ、システムの再起動/ 終了は行わないでください。外部から再起動/ 終了を行うと、場合によっては GIGAPOD2010 にアクセスできなくなることがあります。ご注意ください。

9-1. [システム再起動/ 終了]をクリックします。

9-2. システムを再起動/ 終了させる場合は[OK]ボタンをクリックします。



9-3. 確認のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



再起動にはしばらく時間がかかります。システム起動を待って再接続してください。

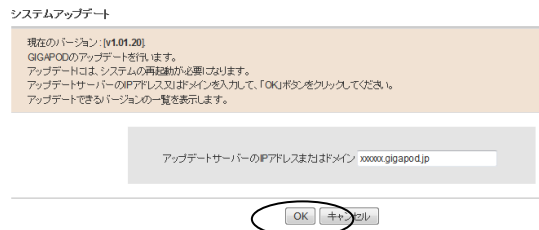


10. システムアップデート

システムのアップデートを行います。
アップデートにはシステムの再起動が必要です。

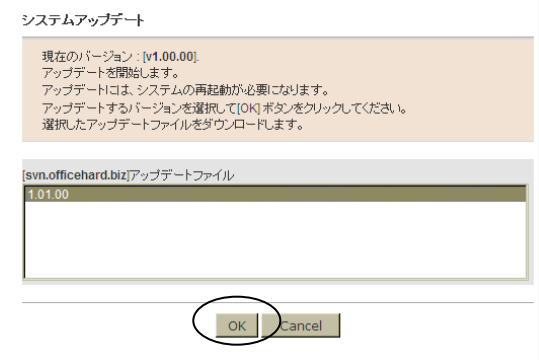
10-1. [システムアップデート]をクリックします。

10-2. アップデートサーバーの IP アドレス又はホスト名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



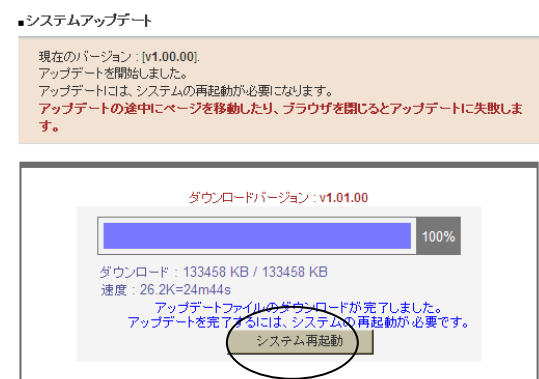
10-3. アップデートするリリースバージョンを選択し、[OK]をクリックします。

最新のリリースで運用している場合は、選択できません。



10-4. 新しいリリースをダウンロードします。
[システム再起動]をクリックすると、システムを再起動し、新しいリリースになります。

注: 再起動には、10分程度の時間がかかります。



11. アンチウイルスアップデート

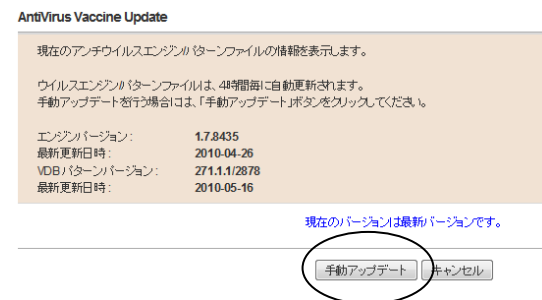
現在のアンチウイルスエンジン/パターンファイルの情報を表示します。

ウイルスエンジン/パターンファイルは、4時間毎に自動更新されます。

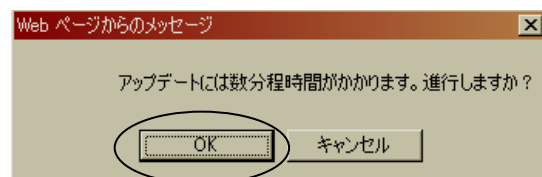
手動でアップデートを行うこともできます。

11-1. [アンチウイルスアップデート]をクリックします。

11-2. 手動アップデートを行う場合には、[手動アップデート]ボタンをクリックします。



11-3. 確認のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



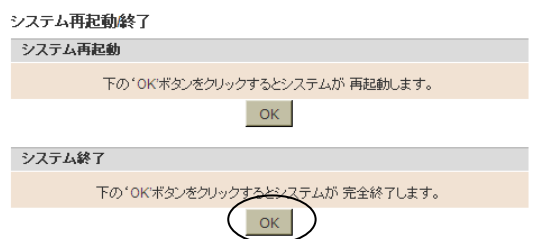


12. 電源 OFF 手順

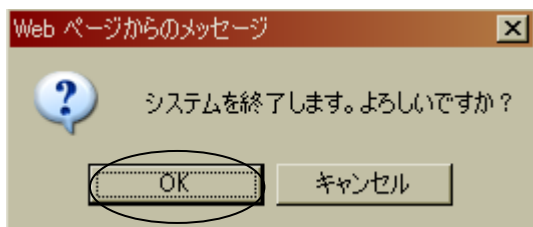
本体の電源を OFF にする場合は、以下の手順で行ってください。

12-1. [システム再起動/ 終了]をクリックします。

12-2. [システム終了]の[OK]ボタンをクリックします。



12-3. 確認のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。



12-4. システムが終了します。

注:システムを終了しないで電源をOFF にすることは絶対におやめください。システムを終了しないで電源を OFF にした場合、以降の動作は保証いたしかねます。

- ・本書はトライポッドワークス株式会社(以下弊社)が作成したもので、すべての権利は弊社が所有します。弊社に無断で本書の一部または全部を転載、複製、改変を行うことは禁じられています。
- ・本書に記載されている他社製のソフトウェア及び周辺機器は、一般に各社の登録商標です。
- ・本書に記載された内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・改良のため予告なく本製品の仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は日本国内でのみ使用することを前提としており、外国の規格などには準拠していません。
日本国外で使用された場合、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ・本製品は本書に記載された使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された事項に反した使用はおやめください。

2010年1月 初版

2010年5月 2版

トライポッドワークス株式会社